

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2011
平成23年

3.15

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
広報サポーターカメラリポート	
地域の話	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらしティニュース	7
おしらせ	8
連載コーナー	10

パステルカラーに
心ウキウキ!





しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 広報サポーターカメラリポート……………3ページ
- 地域の話題（加治区自治会）……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

◆ 広報サポーターだより

「自然空間を生かした〴〵住みよいまち〴〵に」

こんにちは。広報サポーターの村上文男です。
 昨年実施された田原市市民意識調査によると、約9割の方が、田原市は「住みよい」と答えています。でも、この渥美半島の恵まれた自然空間を生かせば、もっと「住みよいまち」になるのではないのでしょうか。



村上文男

住んでみたい場所

今から15年前のこと、「パパ、住むんだったら、イギリスの田舎が合っているよ」と、英国帰りの娘が言いました。「イギリスの田舎?…」。当時、私は名古屋に住み、父の健康上の理由で、週に1、2度、実家のある田原へ通うという暮らしをしていました。娘は、田原と英国の自然空間が同一のものと感じて、私が住むべき場所として「イギリスの田舎」を推奨したらしいのです。

さらに昔、田原中学校の授業中にこんな話を聞きました。教師の友人が英国から帰ってきて、「渥美線に

乗ると、車窓からの風景がイギリスの景色に似ている」と言ったそうです。そして、「周りの日本人を見ないように、顔の左右を両手で覆って、車窓から移る景色を見てごらん。それがイギリスの風景だよ」と教えてくれました。家に帰って、母にそのままの話をすると、「へーえ、そうなの」と、ほほ笑んでくれました。

私たちは、海外に行くと日本の風景を思い浮かべます。それを、目の前の風景と比べ、「いい所だ」と感じたり、「住んでみたい」と言葉にしたりします。もしかして、好みの場所を、自然空間で選別しているのではないのでしょうか。

田原市の自然空間

渥美半島のほぼ全てを占める田原市。市域の多くが国定公園や県立自

然公園に指定されており、まちそのものが景勝地といえます。太平洋と三河湾を一望できる、全国でも屈指の絶景地だと思います。

渥美半島に別荘を求められる方、遠くアフリカの地から日本の土地を田原市に求められる商社の方がいます。仕事柄、そうした方々からお話を伺うと、この土地を訪れたことがあると言われます。実際に渥美半島の自然空間に触れ、「住んでみたい所」に選んでもらえることは光栄です。ですから、もっと「人が集まる活発なまち」となるために、これらの資源を生かしたまちづくり、魅力づくりが必要と感じます。



◆ 渥美線の車窓から見える風景

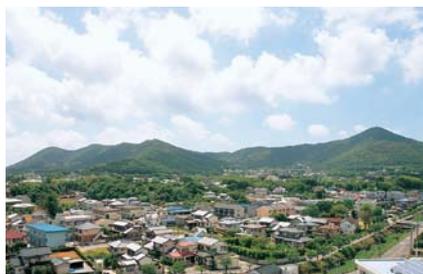
イギリスの田園都市と田原市の風景には類似性があるようです



◆ 雄大な太平洋岸（和地町周辺）



◆ 歴史的空間（池ノ原公園）
歴史の息吹も住みよさのエッセンスに



◆ やさしい山並み（滝頭山～藤尾山）
市街地を見守る山々は住空間に潤いを



◆ 風光明媚な三河湾（宇津江海岸）
昔ながらの松並木は守りたい風景の一つ

おもてなしの気持ちを

市民の中には、田原市へ転勤して、そのまま定住された方が数多くいます。また現在、年間300万人以上の観光客が「自然の幸」を求めに渥美半島を訪れています。この中には、田原市への移住を考えている人がいるかもしれません。

この地域の根本は「自然空間の中での住みよさ」です。それらを求める方たちを、市として、市民として、歓迎する準備が必要と考えます。

● 自然への関心について
「関心がある」…85・7%
● 農山漁村への定住願望について
「願望がある」…都市住民の20・6%
【出典】内閣府「自然の保護と利用に関する世論調査」(H18) および「都市と農山漁村の共生・対流に関する世論調査」(H17)

市と市民の手で

魅力向上のためには、「太平洋と三河湾」「やさしい山並み」の2つを、渥美半島の自然の柱として、これらの保全と活用に、もっと力を入れる必要があるのではないのでしょうか。

ここ数年における、田原市の決算状況を分析してみたところ、やはり3年前の急激な景気後退の影響が色濃く、道の駅などの大型事業が完了したこともあり、海や山への投資額は横ばいという印象を受けます。厳しい財政状況の中ではありますが、市役所の創意工夫を望みます。

また最近では、地域による里山保全や海岸保護の取り組みが目立ってきました。こうした取り組みが、もつともつと広がっていくことを期待しています。

◆ 広報サポーターカメラリポート

「味噌作り」

大草の手作りの会が、今回初めて開催した「味噌作り」におじゃましてきました。

地

元の主婦を中心とした大草の手作りの会の皆さん。昨年10月の大草市民館祭りで、手作りこんにやくと味噌を振舞ったところ評判が良かったので、開催することになったそうです。

売り物の味噌との違いは、塩分が濃くなく、味噌だけで食べてもおいしいこと。味噌汁にすると、1杯目は少し酸味を感じますが、2杯目になると味噌のうま味がわ



喜田 恵子



かり、とてもおいしいです。最近はおパック入りの味噌を買うこともありますが、「手前味噌」という言葉があるくらいですから、昔は味噌を作っていた家庭も多いと思います。手作り味噌は、作るのに2日、熟成期間は約半年。でも、その手間や待つ時間が、味噌においしさをプラスしていると感じました。



● 味噌作りの様子

【材料・作り方】 出来上がり 10 kg 分

- 大豆 3kg ● 塩（自然塩） 1 kg
- 米こうじ・豆こうじ各 1.5 kg
- 種水 500cc ~ 700cc

- ① 前日に大豆をよく洗い、3倍ほどの水につけておく。
- ② 灰汁を取り除きながら、大豆を親指と人さし指で挟み軽い力でつぶれる程度にやわらかく煮る。（圧力鍋なら20～30分）
- ③ 塩とこうじをよく混ぜ合わせる。
- ④ 大豆をざるに上げ種水（煮汁）を切り、熱いうちに、もちつき機またはすり鉢でつぶす。
- ⑤ つぶした大豆を約40℃に冷まし、③とよく混ぜる。種水を加えて適当な固さにし、こぼし大に丸める。
- ⑥ 殺菌した容器に、だんごに丸めて、容器の底へたたきつけるように押しつけ、きっちり詰める。
- ⑦ 塩蓋をし、ラップで表面を覆い重石を置く。約半年、熟成させる。

加治区自治会の取り組み 下

前回に引き続き、加治区自治会の活動紹介を通して、自治会活動のあり方を考えていきます。

〔案内人〕 田原市総代会地域コミュニティ研究会オプザーバー 鈴木誠さん（岐阜経済大学経済学部教授）



今回は、加治区における将来ビジョンの策定と活動目標の共有化についてご紹介します。

住民が地域目標を共有

◆加治区自治会では、国の交付金事業の実施を契機に、平成17年に『加治将来ビジョン』を策定しました。

その際、全戸アンケートや現地踏査などで、なすべきことを検討し、将来目標を『住民が暮らして楽しい笑顔のある暮らし』に決めました。

地域の目標を定めることで、これまで実施していた多彩な活動(前号で紹介)も目的や意義が明確化し、その必要性を示すことができます。

そして、この内容を掲載したかわらばんを作成し、地域目標を周知しています。さらに、年4回発行する広報紙で自治会の活動の意義や活躍している

人を紹介し、共通認識の形成と連帯感の高揚を図っています。

目標を共有することは、活動への参加を促すだけでなく、道路など地域基盤の整備を促進する上でも効果を発揮しています。



●広報紙「加治わっと」

自治組織の存在意義

これまで、加治区自治会を例に自治組織の活動を見てきましたが、地域自治組織の存在意義と今後のあり方を整理してみたいと思います。

◆昨今、住民からの自治会活動への不満を耳にすることも少なくありません

が、それらには不透明な運営、内容伝達の不足、個人負担の重さなどさまざまな要因を含んでいます。

また、自治会が自分の生活に役立っている実感がわかないために、活動に参加しない方も増えてきました。

その一方で、役員側からは、推薦されて就任したにもかかわらず、地域課題への対応や改善策などに住民の協力が得られないとも聞きます。

地域の自治組織の運営は家庭と同じで、お互いに思いやり、助け合うことで成り立つものですので、企業活動のように効率だけを追求し、切り捨てながら、目標達成を目指すものではありません。

住民側と役員側のすれ違いを見るにつけ、組織体制や活動の良し悪しを論ずる以前に、自治組織はそもそも助け合いの場であることを全員が再認識することの必要性を感じます。

そして、自治会が何かを提供するのではなく、地域の助け合いの中で一人ひとりができることに取り組むための「場」として存在することが、組織の意義ではないでしょうか。

おわりに

◆地域づくりの主導権は、政府から地方自治体や地域自治組織へと移行しつ

つあります。それ故、地域の課題を住民相互の助け合いで解決し、共助の地域社会を担う地域自治組織への期待は、今後さらに高まることは疑いようがありません。

しかし、加治区自治会の例で示したように、「活動目標の明確化・共有化」「参加機会の確保・役割の均等化」「親睦活動と団体支援による連帯感の形成・人材の育成」などに取り組みしなければ、組織の機能を十分に発揮させ続けることはできません。

そして、地域自治の取り組みにより郷土力を高めることは、住民生活の快適性を保持するだけでなく、地域経済にも好影響をもたらすことが国内外で報告されています。

このたび、田原市総代会により地域課題の主体的な対応策などを掲載した「地域コミュニティのあり方に関する報告書」が作成され、市民館などへ配布されると聞いています。

私も研究会参加者として、誰もが住み良い地域社会の実現を目指した田原市の地域コミュニティ活動のご発展に大いに期待を寄せています。





市民活動を応援するページ.....



市民活動紹介

『新規団体活動補助金』を活用して

『東友クラブ 趣味の会』 代表・西山知津子さん

私たち『東友クラブ』は、外出の機会がなくなりがちな高齢者の、地域における「居場所」づくりができないかと、蔵王東ヶ丘地区で平成21年8月から活動を始めました。団体の運営は初めての経験で、戸惑うことばかりでした。資材などの調達も、自分たちの所有物を持ち寄ったり、多少の自己負担をしたりしながらスタートしました。

そんなとき、『新規団体活動補助金制度』が新たに始まることをこのページで発見！これはチャンスだと思いましたが、書類作成などしたことがなく、私たちの活動が補助金の対象となるかも分からないまま、市役所に行きました。そんな私たちに、制度の趣旨や申請書の書き方などを丁寧に説明していただき、無事に交付決定をいただくことができました。その後も、市民活動支援センターのスタッフさんや市の職員の皆さんには、活動に関する相談にも乗っていただくなど、今ではすっかり仲良しになりました。

今回経験したことで、多少の自信がつかえました。自立した活動ができるよう、来年度は『市民協働まちづくり事業補助金』に挑戦しようかと考えています。



●皮工芸に取り組む会の皆さん

協働
ニュース

平成23年度 田原市市民協働まちづくり事業補助金 公開審査会

平成21年度からスタートした市民協働まちづくり事業補助金制度は、市民活動団体などが提案する公益性の高い活動で、その活動の自立を促し、目的を達成するために交付されています。現在、平成23年度の提案事業の募集が、4月8日迄まで行われています。

応募された提案事業は、書類審査のほか、応募団体によるプレゼンテーション方式で行われる公開審査会において、公益性・必要性など8項目の審査基準により審査されます。

この審査会は公開で行われますので、皆さんぜひご聴講ください。

日時 4月23日(土) 午後2時～

場所 田原福祉センター 大会議室(3階)

※申込不要です。直接会場にお越しください。



田原市民活動支援センター

市民と市役所でつくるページ♥あなたのニュースも募集中!

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週火・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

■ このページに掲載する市民活動情報を募集しています。

● お問い合わせ：☎22局 1111 (内線812) ※ 開設時間のみ FAX 23局 0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

スクールレポート

SCHOOL REPORT 32
学校生活の一コマ
を紹介

今回は、学校生活の中から、金銭教育へ取り組む様子、裏山に作った野外ステージを利用した群読集会などの様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

伊良湖小学校「金銭教育」

生きる力をはぐくむ金銭教育！

伊良湖小学校では、県金融広報委員会と市教育委員会の研究委嘱を受け、平成22年度から23年度にかけて金銭教育の研究をしています。金銭教育というと、お金もうけの方法を教える教育と思われるかもしれませんが、そうではなく、主に働くことの大切さを知り、生き方を考えるための勉強をしています。

昨年11月、市内の先生方や多くの保護者や地域の方々を招いて、「金銭教育シンポジウム」を行いました。授業参観や全体発表会、講演会などを行い、大変好評でした。保護者からは「子どもたちにとって、いい勉強や経験となったと思います。親にとっても見直すべきことがたくさんありました」「講演会の話は分かりやすかったです。子どもたちが、お金のありがたみをわかってくれたらうれしいです」などの感想が寄せられました。

この教育を通して、子どもたちにお金の価値を実感し、働く喜びを知ってほしいと願っています。



●講演会「お金のしつけ」の様子



●自分たちで育てた花の苗を売る2年生（金銭教育シンポジウム）



●ふるさとをバックに群読の発表をする6年



●全校児童による群読発表（学習研究発表）

田原南部小学校「青空群読集会」

藤尾山の風を感じ、心を育む群読集会！

田原南部小学校では、平成21年6月、魅力ある学校づくり事業の一環として、学校の裏山に野外ステージを設置しました。この野外ステージは、青空群読集会のほか、ふじお集会や俳句教室などで活用しています。

毎月行う青空群読集会では、ふるさと大久保を眼下に、どの子も胸いっぱい藤尾山の空気を吸い、腹の底から思いきり声を出しています。子どもたちからは「気持ちよかった」「またやりたい」などの声が聞かれます。昨年10月には、「ことばが弾み、ことばが響き合う『なんぶっ子！』」をテーマに、学習研究発表を行いました。全校の群読集会を、この野外ステージで行う予定でしたが、当日は悪天候のため体育館での開催となりました。元気で発表した子どもたちでしたが、「野外ステージでやりたかった」と残念がっていました。

この全校の群読集会を通して、子どもたちが学年を越えた仲間づくりができるようにと願っています。



▲ 彩り豊かなガーベラの収穫体験を行う参加者たち(高松町)

2月22日(火)
楽しんで知る
たはらの農業

市政びーあーる講座「日本の「たはらの農業」まるかじり」が開催されました。参加した市民29名は、市内にある花の出荷場や最新の農業施設などを見学したほか、地元食材を使ったランチなどを満喫。講座を通じ、市の基幹産業である農業について理解を深めました。



▲ 来年の秋ごろに迎える収穫時期。今から待ち遠しいですね

2月20日(日)
大きく育て！
わが家のきのこ

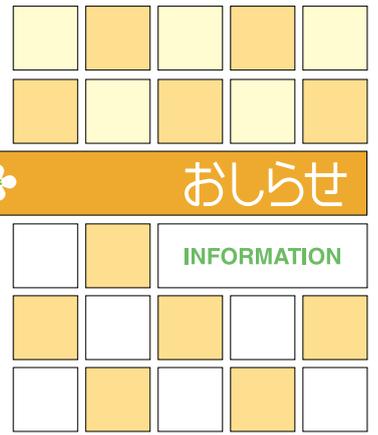
きのこ菌打ち体験がサンテパルクたはらで開催され、市内外から54名が参加しました。間伐材の運搬からシイタケ菌などを打ち込むまで、一連の作業を体験した参加者たち。里山に触れ、自然のすばらしさを体感している様子でした。



▲ 青空のもと、楽しく走れば心も体も元気いっぱい！

2月12日(土)
みんなで走って
健康づくり

第19回田原健康ふれあいジョギング大会が白谷海浜公園で開催され、市内外から約300名が参加しました。小学生から一般人までの選手が陸上競技場で熱いレースを繰り広げ、その後は観戦した家族なども加わり、公園内でジョギングを楽しみました。



募集

WANTED

田原市臨時職員 (埋蔵文化財)

▼募集人員 ① 2名 ② 1名
▼対象 発掘出土品の整理やパソコンの操作ができれば健康な方
▼勤務形態 週5日以内(月・日曜日・祝日を除く) 午前8時30分～午後5時15分
▼採用期間 ① 5月6日(金)～6月30日(木) ② 5月6日(金)～10月31日(木)



田原市臨時職員(田原市博物館) 緊急雇用創出事業

▼選考方法 面接(詳細は後日通知)
▼賃金 時給830円
▼申し込み 4月11日(月)までに文化財課にある履歴書に必要事項を記入のうえ執務時間内に提出/郵送不可
▼文化財課
☎ 23局 3635 FAX 22局 3811

市内で資料整理などをする臨時職員を募集します。



▼募集人員 3名 ▼対象 ハローワークの紹介状をお持ちの方
▼採用期間 5月1日(日)～10月31日(月)
▼勤務内容 市内施設で、資料整理やパソコン処理など
▼勤務形態 週5日勤務(土・日曜日勤務あり) 午前8時30分～午後5時15分
▼賃金 830円 ▼選考方法 面接(詳細は後日通知)
▼申し込み 4月15日(金)までに田原市博物館にある履歴書に必要事項を記入のうえ開館時間内に提出/郵送不可
▼田原市博物館
☎ 22局 1720 FAX 23局 3770

田原市医師確保修学資金等の申し込み

地域医療における医師確保を図るため、将来医師として田原市内の公的医療機関(厚生連 渥美病院)に勤務する意志のある方を対象に、修学に必要な資金をお貸しします。

- 申込資格 平成23年4月1日時点で、医学部大学生、医学部大学院生および医師で臨床研修、専門研修を受けている方、または受けようとする方
- 選考方法 書類審査および面接
- 次の条件に該当する場合、貸与した修学資金等の返還を免除します。

- 貸与人数 若干名
- 貸与資金の種類と金額・期間

名称	貸与金額	貸与期間
大学生修学資金	月額20万円 入学時100万円(1回限り)	正規の修学期間(6年間を限度)
大学院生修学資金	月額20万円	正規の修学期間(4年間を限度)
研修資金	月額10万円	5年間を限度

※修学資金等は、重複して申請できますが、貸与期間は通算するものとし、原則6年間を限度とします。

- 申込期間 4月1日(金)～5月13日(金) ※締切日必着
- 申込方法 健康課にある貸与申請書(市ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入のうえ必要書類を添えて提出
※詳細は応募要領をご覧ください。

- ①臨床研修、専門研修または大学院の課程を修了後、原則として直ちに特定従事医師(産婦人科・小児科)として、修学資金等の貸与期間の3分の2に相当する期間を市内の公的医療機関に勤務したとき
 - ②臨床研修、専門研修または大学院の課程を修了後、原則として直ちに特定従事医師以外の医師として、修学資金等の貸与期間に相当する期間を市内の公的医療機関に勤務したとき
- ※貸与期間が短い場合でも、3年以上の勤務期間が必要です。

●問合せ・提出先

田原市役所 健康課
☎ 23局 3515 FAX 23局 3810
HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

生活

メジロの愛玩飼養には許可が必要です

鳴き声を楽しむために国内の野鳥を飼う「愛玩飼養」には、許可が必要です。知事の許可を受けて野鳥を捕獲したうえで、田原市長が発行する「鳥獣飼養登録票」の交付を受ける必要があります。（登録を受ける）と、野鳥には足環が着けられます）

愛玩飼養目的の捕獲許可を受けることができる野鳥は、現在、メジロに限られています。また飼うことができるメジロは、1世帯につき1羽と決められています。希望される方は、東三河県民事務所環境保全課にお問い合わせください。

田原市長選挙

投票日：4月24日(日)
(告示日：4月17日(日))

【日程】

- 選挙運動・立候補事務手続き説明会
日時▶3月22日(日) 午後2時～
場所▶田原市役所301会議室
- 立候補届出書類事前審査
日時▶4月13日(日) 午前9時～午後4時
場所▶田原市役所301会議室
- 立候補受付
日時▶4月17日(日) 午前8時30分～午後5時
場所▶田原市役所301会議室

《愛知県議会議員一般選挙》
投票日：4月10日(日)
告示日：4月1日(金)

▶田原市選挙管理委員会(総務課内)
☎23局3506

▼東三河県民事務所環境保全課
☎(0532)54局5111
FAX(0532)56局5188
▼環境衛生課
☎23局3541 FAX23局0180

▼田原市交通安全推進協議会が表彰されました

市民の皆さんにご協力いただいている街頭指導などの交通安全活動の実績が認められ、このほど田原市交通安全推進協議会が表彰されました。同協議会は1月に愛知県交通安全推進協議会会長から「表彰状」を、愛知県警察本部長から「感謝状」を贈られました。改めて皆さんのご協力にお礼を申し上げますとともに、引き続き交通安全活動にご尽力いただきますようお願いいたします。

▼市民協働課
☎23局3504 FAX23局0180

「空き家・空き地」の物件を募集します

田原市では、「**空き家・空き地バンク制度**」により、「**空き家・空き地**」を所有する方と、その利活用を希望する方の橋渡しを行い、市内への定住促進や活性化を目指しています。今回は、利活用を図りたい「**空き家・空き地**」を所有する方へ物件の募集を行います。資産の有効活用のため、ぜひ本制度への登録申込みをお願いします。

募集物件

- 【**空き家**】現在居住していない居住可能な市内の専用住宅（改修などで居住可能となる物件を含む）
- 【**空き地**】現在使用していない市内の宅地（残存物件の除去などにより住宅が建設可能な物件を含む）

申込み

- 【**対象者**】当該物件の売買・賃貸を行う権利のある方（法定代理人・相続人などを含む）
- 【**申込み方法**】直接お申し出ください。詳しくはお問い合わせください。

▶建築課 ☎23局3527 FAX22局3811
✉kentiku@city.tahara.aichi.jp <http://tahara.akiya-bank.idct.org/>

登録する空き家を対象として、改修費用の補助金があります。補助額は、改修費用の2分の1の範囲内で30万円が限度です。

広がる未来へ

●地球温暖化防止の取り組み
「ストップ温暖化大賞 低炭素杯
2011」の参加結果について

たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会は、2月5日(土)・6日(日)に東京大学安田講堂で開催された「ストップ温暖化大賞 低炭素杯 2011」に愛知県代表として参加し、**優秀賞**と**WEB投票賞**を受賞しました。



▲プレゼンテーションの様子

会場では、全国からエントリーされた47団体により、地球温暖化防止の取り組み事例を紹介するプレゼンテーションが行なわれました。たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会は「みんなで減らそうCO2簡単なことから1つずつ実践」をテーマに、たはら

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

啓発ポスターの募集などの取り組みについて、環境戦隊たはらエコレンジャーが紹介しました。



たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会とは

たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会は、田原市として数値目標を掲げた温室効果ガス排出削減や7つのプロジェクト達成のための事業実施や啓発などを担い、たはらエコ・ガーデンシティ構想を実現していくための推進役として平成17年2月8日に設立されました。市民、事業者、教育研究機関などが、地球温暖化対策について主体的に活動し、それぞれが連携を図りながら推進しています。

※詳しい内容などは、市ホームページで公開していますのでご覧ください。



●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1321人 事業所56か所(2月末現在)

▼たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会事務局(エコエネ推進室内)

☎23局74011 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>



省資源のリサイクル

もやせるごみの中には、資源として再生可能な紙類が、多く含まれています。今回は、紙のリサイクルについて紹介します。

きちんと紙を分別しよう

紙のリサイクルは、きちんと分別することから始まります。捨てる前に、資源となる紙かどうか確認しましょう。



●汚れた紙や異物を混ぜないように注意しましょう！

再生される古紙の品質を高めるために、次のようなものは混ぜないようにしましょう。

- 臭いがついているもの
- 水や油で汚れているもの
- 酒ハックなどの裏が銀色のもの
- ビニールコート紙
- クリップや粘着テープなど紙以外の異物 など

古紙利用製品を積極的に使おう

古紙を利用した製品を積極的に使用することも、紙のリサイクルを促進する大切なポイントです。使用することで、リサイクルの輪が広がります。古紙利用製品には、グリーンマークが付いていますので、購入する際に参考にしましょう。



グリーンマーク



ごみ収集カレンダーや「ごみの分け方出し方」パンフレットで確認し分別にご協力ください。

清掃管理課

☎23局355008

FAX 23局0180



ゴミゴミンとリサイクルレンジャー

交流通信

このコーナーでは、田原市の国内外の交流事業や多文化共生事業の情報をお届けします。

▶ 広報秘書課 ☎ 22局0138

在住外国人のための『生活ガイドブック』

外国の方が、田原市での生活に必要な情報を集めた冊子をご紹介します。

● 田原市での暮らしもこれで安心

在住外国人のための『生活ガイドブック』を作成しました。これは、外国の方をサポートするための情報を集めたもので、英語・中国語・韓国語版の3種類があります。見開きで、左側が日本語、右側が外国語で同じ内容が書いてあり、日本の方と一緒に読むことができます。

入国(転入)時や滞在中、出国(転出)時に必要な手続きや、税金、保険・年金、保育園・小学校・中学校などについて説明しています。



● 市役所などで配布しています

『生活ガイドブック』は、外国の方の転入時などに配布している「ウェルカムキット※」のひとつとして、お配りします。必要な方には随時の配布もします。皆さんの周りの方に



▲『生活ガイドブック』。見開き左側が日本語、右側が外国語

も、ぜひご紹介ください。

※ウェルカムキット…生活情報冊子などを集めたもの。田原市勢ミニ要覧、ごみカレンダー、防災マップなどのセット。

● 配布場所

広報秘書課、市民課、渥美支所市民生活課
中央図書館、赤羽根図書館、渥美図書館
(市ホームページからもダウンロード可)
☎ <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

▼ 変更日
平成23年3月24日 困

▼ 変更後の名称
「東海地震観測情報」が「東海地震に関連する調査情報」に変わります。

※「東海地震予知情報」「東海地震注意情報」の名称は変わりません。

こんにちは、かんちゃんです。平成21年8月11日、駿河湾を震源とする地震が発生しました。このとき、初めて「東海地震観測情報」が発表されましたが、この情報の意味がわかりにくいという意見が多くありました。そのため、気象庁がアンケートを実施し、わかりやすい名称や意見などを募集し、検討した結果、次のように変わります。



■ 東海地震に関する情報

情報の名称	内容
東海地震予知情報	東海地震が発生するおそれがあると認められた場合に発表される情報
東海地震注意情報	観測された現象が東海地震の前兆である可能性が高まった場合に発表される情報
東海地震に関連する調査情報	東海地震に関連する現象について調査が行われた場合に発表される情報

▼ 防災対策課 ☎ 23局3548

※「東海地震予知情報」「東海地震注意情報」が発表された場合、市内の防災行政無線でお知らせします。この2つの情報が流れたら、テレビ、ラジオなどの情報に注意し、十分警戒してください。



かんちゃん

防災まめ知識

70

東海地震に関連する情報の名称などが変わります



忍びよる巨大地震

歴史探訪

クラブ! 其の120

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

太田洋愛と太田桜

皆さんは、田原市出身の太田洋愛という画家をご存知でしょうか。洋愛は、日本のボタニカルアートの草分け的な存在です。ボタニカルアートとは、図鑑に掲載するような植物画の美術作品のことで、中世ヨーロッパにおいて、植物学者が草花を記録するために細密に描き始めたのが始まりといわれています。絵の技術はもちろんのこと、植物を科学的な視点で観察、分析できる力も必要です。



▲洋愛が描いた太田桜(成章高校蔵)

太田洋愛(1910~1988)は本名を保(たも)といい、田原町で生まれ、小さなころから絵を描くことが好きな少年でした。小学生のころ、洋愛はお寺に修行に行きましたが、お供え物を包む紙をもらっては、仕事の途中に写生をしていました。もちろん仕事がおそろそかになるので、和尚さんに怒られました。しかし、あまりにも見事な出来栄なので、和尚さんは、本堂に飾る観音様を描かせたといえます。このエピソードを聞いて、室町時代の偉大な画家である雪舟が、寺の仕事をさぼっては絵を描くので和尚さんにしかられ、涙でネズミの絵を描いて認められたという話を思い出しました。

洋愛は、成章中学校を卒業後、満州教育専門学校植物学教室で2000年前のハスの種を発芽さ



▲成章高校に植えられた太田桜の木

せたこと
で有名な
「はず博士」大賀一郎博士に師事し、植物画を学びました。
終戦後、不幸にも

4年間もシベリアに抑留され、きつい労働や満足でない食事に苦しみましたが、少しの時間を見つけては絵を描きました。そしてその絵のうまさの評判となり、ロシアの将校に頼まれては草花や肖像を描き、かわいがられたそうです。洋愛は、絵のうまさはもちろんのこと、その情熱で、いつの間にか周りの人まで取り込んでいったのです。

帰国後は、いったん田原に戻りますが、絵の勉強のため東京に出て、理科の教科書や園芸のテキストの挿絵を描きます。春になると、大好きな桜を描くために日本各地を巡りました。ある時、洋愛は岐阜県白川村本覚寺にある大木の八重桜を、いつ

もの通り注意深く観察しながら描いていました。その桜は、うすいピンク色の八重桜でしたが、めしべが多く今まで見たものと違うことに気付きました。洋愛は新種の桜を発見したのでした。この新種の桜を大井次三郎博士は、発見者の洋愛を称え「オオタザクラ」と命名しました。誰も気付かなかった新種が、画家によって発見されたのでした。

植物を愛し、それを鋭い観察によって絵に仕上げる。太田桜の発見も、洋愛だからこそできた当然のことだったかもしれません。洋愛は、『日本桜集』『太田洋愛画集』をはじめ数多くの画集を出版しています。この太田桜は、洋愛の母校、県立成章高校の創立80年を記念して植えられています。(増山)

今月の「表紙」

▼2月に開催した「市政ぴーあーる講座」のガーベラ狩り体験で訪れた温室の中は、まるでお花畑。春のお花畑の中を散策するように、ガーベラの花を選ぶ皆さんの顔にも、とてもステキな笑顔が咲いていました。田原市の花きの産出額は日本一。まさに花いっぱい!の常春のまちですね(〇)

【表紙の写真】ガーベラ狩り(高松町)